

平成 26 年 12 月 8 日

## 12 月の木材価格・需給動向

### 1. 国産材(北関東)

栃木の丸太生産は引続き順調。入荷量は間伐材を中心に平年を上回る状況。荷動きは全般に好調が続く。スギは柱材が変わらず好調、一時逼迫感のあった中目材も落ち着く。ヒノキは入荷量が平年並みに回復したことから引合いは弱い。丸太価格は秋需不振の中でも堅調に推移していたが、ここにきて入荷量の増加が続き全般に軟調。10 月下旬の優良材展以降は間伐材主体となり、スギは弱保合から弱含み、ヒノキは値下がり。

群馬の製材工場の操業状況は年内手一杯。製品の販売は、製品市場への出荷が少し増えたが依然少ない。プレカットへの販売は順調で年内の仕事は十分。製品在庫は多少増加。製品価格は変動少なく安定続く。原木は出材が増え手当は順調。年末資金調達の関係で、今後も順調な出材見通し。原木在庫は潤沢だが、運搬業者が原木市場への運搬に忙しく、山土場等での在庫は増加。伐採業者の減少も顕著だが、国産材の需要に見合った原木運搬業者の不足が顕在化。

### 2. 米材

米国産米マツの輸出丸太価格は上昇したが、感謝祭・クリスマスシーズンで伐採業者が休業し出材は低下、輸出元は集材に苦慮。堅調な住宅着工により米国内向け丸太販売は引続き好調。港頭在庫は伐採が進まず払底。ウェアハウザー社の 12 月積み対日米マツ尺上材は、前月比 \$ 20 アップの \$ 890 (推定)。米材原木の入・出荷、在庫ともに横這い。国内の大手港湾製材工場は通常の操業、合板工場は昨年同期比 8%程度の減産を継続中。急激な円安で原料コストの上昇に製品価格が追いつかず販売は苦戦。米西海岸の労使交渉が長期化、一部の港では荷役遅延が始まり混乱。

米製材品の TLT(東京木材埠頭) 11 月の入荷量は 24.3 千 $m^3$ で前月比 18.7%の減、出荷量は 28.1 千 $m^3$ で同 25.5%減、在庫量は 45.7 千 $m^3$ で同 7.7%減。産地情勢は好調な住宅着工により丸太価格の下げがストップ。DF J-grade の 12-1 月積価格は、\$ ベースで横這いだが、為替円安分、円ベースではコストがアップ。SPF 2×4J グレードはスポットで \$ 530/Mfbm 前後で横這い。10-11 月のプレカット工場の稼働状況は比較的良好だが、急激な円安のため仕入れにはより慎重。

当用買いの進む中、SPF デイメンションは在庫買占めの動き。TLT の在庫量は減少傾向で、7 月末比で 41 千 $m^3$ 減少。

### 3. 南洋材

サバは雨期入りで、出材は 2 月下旬までスローダウンと予想。輸出丸太が確保されにくい状況下で、現地製材工場は原料手当が一層厳しく、製材品の生産はかなり低調。製品価格も丸太価格が横這いのため下落せず。サラワクは太材良木の供給が先細る中、環境保護団体からの圧力を受け、合法性に関する取締りが強化され、雨期入りと併せて丸太の出材は一層低調な状況。このため丸太価格は、近隣諸国の買付が落ちている状況でも引続き高値横這い。PNG ソロモンは天候不良で出材悪く、価格は高値据置。南洋材丸太は入荷が減少したため在庫も減少。製材品の入荷は横這い。丸太の販売は合板用、製材用とも変化なし。製材品は円安影響で製品への価格転嫁が進み、すべての製品で値上がり。荷動きは当用買いに終始しており全体的に低迷。

### 4. 北洋材

ロシアシベリア地方のアカマツ丸太がようやく出荷。現地工場も地域によって差はあるが、製品のオファーが出始めた。但し、為替変動により成約しにくい状況。中国向けは丸太、製品ともに需要が少なく価格は下げ傾向。富山新港の 11 月の丸太入荷は 3,0 千 $m^3$ (エゾマツ 2.4 千 $m^3$ 、アカマツ 0.6 千 $m^3$ ) で、原板入荷は 8.1 千 $m^3$ 。在庫は 1.0~0.6 ヶ月。価格動向は、丸太はアカマツ・エゾマツ・カラマツともに弱含み、製材品は横這いからやや弱含み。一部の現地挽きは為替変動に関係なく横這い。国内の北洋材製材工場は丸太、原板とも不採算。稼働状況は生産調整続く。受注状況は主要アイテムで過剰感あり。

### 5. 合板

原料丸太の相場は国産材でスギは横這い、カラマツは強め。米材とロシア材は強含み横這い、南洋材は雨期に入り今後集荷に影響。外材は円安の影響で現地のコスト高もあり値上げしたいところだが、大幅な値上げとはなっていない。10 月の国内総生産量 23.6 万 $m^3$ のうち針葉樹合板は 21.9 万 $m^3$ 、出荷量は 22.2 万 $m^3$ で 2 か月連続出荷量が生産量を上回る。在庫量は 21.9 万 $m^3$ で依然高水準。販売価格は、12mm 針葉樹合板が 11 月に更に下落したが、東日本のメーカーが値戻しを唱えたこと、トラック不足による配送遅れも目立ち、これ以上相場の乱れは無く僅かな値戻しも期待できる状況。

国産針葉樹合板は現状弱保合の展開だが、メーカーは現状価格を 12 月中旬までとし、その後の値戻しを打出している。年末になり配車困難は避けられず、

相場も引き締まる方向。輸入合板は全体的に活発とは言えないが、悪くもない。価格はスピード感は無いが着実に更なる値上げも浸透。先行き針葉樹合板はメーカーの値上げ打出しとトラック不足がどう作用するか懸念されるが、相場を再び冷やすことはないと予測。輸入合板は今後入荷減も予想され、着実な値上げ浸透と一部アイテムで品薄の事態もあると予測。ラワン合板の 2.5mmB 品、5.5mm で品薄感。

## 6. 構造用集成材

原料ラミナは日本の在庫調整のため、11-12 月の入港は少なめ。価格は€240 と安いものもあるが、急激な円安で円ベースではアップ。国産集成材の 11 月受注は、円安の影響で先高観から製品を手配する流通が多く好調。販売先行きは、プレカットの仕事量薄いが、国内メーカーへの発注は多い。在庫は少なく、国内メーカーで納期が 1 か月かかる工場も出始めた。価格は柱、間柱、梁桁とも値上げ傾向で、WW 柱 1,900 円/本、RW 梁桁 60,000 円/m<sup>3</sup>の模様。輸入集成材は東京港の港頭在庫が記録的な少なさで、来春まで続く兆し。また、円安により国内製品に割安感があり、QTR4 の契約難航が予想。

## 7. 市売問屋

国産材の構造材は、動き鈍く好転の兆しはない。造作材は例年この時期動きが活発になるが、これも目立った動き見られない。外材の構造材は、米ヒバに多少の引合いがあるが、国産材同様全体に動き悪い。造作材は円安による値上げの中で、ここにきて米ヒバ及びピーラーの桟平が引合い増加。販売動向は買方の手持ち仕事量が少なく、特別市を除き市日の来場者数は少ない。必要当用買いに徹し買方の在庫意欲乏しい。8 か月連続の住宅着工減を払拭する新規政策が欲しい。

## 8. 小売

国産材の構造材はスギ、ヒノキ土台・柱とも保合。外材はロシアアカマツ垂木弱保合、米ツガ KD 角、平割、SPF いずれも保合だが為替の影響で先高感あり。造作材はスプルース良材、ナラ、タモ保合。集成材は WW、RW 梁、柱とも保合。合板は針葉樹、ラワンともに保合。床板・フロア材保合。プレカット工場の受注状況は多少改善したが、町場工務店は仕事量少なく苦戦。

12月の需給・価格動向

1. 主要外材入出荷在庫量

		入荷量	出荷量	在庫量
米材	丸太	→	→	→
	製材品	→	→	→
北洋材	丸太	↘	↘	↘
南洋材	丸太	↘	→	↘
	製材品	↘		

矢印の表示は今月に対する翌月の動向を、下記のように示したものである。

↑ 急増・急上昇  
 ↗ 増加・上昇  
 → 横ばい  
 ↘ 減少・低下  
 ↓ 急減・急落

2. 合板供給量

国内製造量	輸 入 量		
	計	インドネシア	マレーシア
↘	→	→	→

3. 価格動向

樹材種	形状	取引条件	樹種・寸法等	動向
国産材	丸太	卸売価格 (北関東、県内産 市場土場渡し)	スギ柱材(3m) 2等	→
			スギ中丸太(3.65m) 2等	→
			ヒノキ柱材(3m) 2等	→
			ヒノキ中丸太(4m) 2等	→
	製材品 (関東近県産 板は東北産)	首都圏・市売り 価格	スギ柱角 10.5×10.5×3m 特等	→
			スギ柱角 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ柱(KD) 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ加工板 1.3×18.0×3.65m 特等	→
			スギ間柱 10.5×3.0×3m 特等	→
		スギタルキ3.0×4.0×4m	→	
		ヒノキ柱角(KD) 12.0×12.0×3m 特等	→	
		ヒノキ土台角 12.0×12.0×4m 特等	→	
米材	丸太	産地価格	米マツ ISタイプ	→
		国内卸売価格 (京浜・オトラ)	米マツ カスケード(カナダ産)	→
			米マツ ISタイプ コースト	→
	製材品 (カナダ産・ 現地挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	米ツガ桁角(KD) Std&Btr S4S 10.5×10.5×4m	↗
			米マツ桁角(GR) Std&Btr S4S 4・1/8” 13’	↗
(国内挽き)		米ヒバ土台角(GR) Std&Btr 4・13/16” 13’	→	
		米マツ平角(KD) 特等 10.5×24.0×4m	→	
南洋材	丸太	産地価格	メランティレギュラー	→
		東京・水面筏 渡し価格	メランティレギュラー 60cm上、4m上 製材用	→
	製材品		産地価格	メランティレギュラー 60cm上、4m上 合板用
		東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトセラヤ 平割(サバ州産)	→
		同上2.4cm×込み×4m 定尺1等	↗	
北洋材	製材品	国内卸売価格 (東京問屋着値)	エゾマツ(3.0×4.0×3.8m) 特等	→
			アカマツ(3.0×4.0×4m) 特等	→
			カラマツ(10.5×10.5×4m) 特等	※
欧州材	製材品 (現地挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 間柱 2.7×10.5×3m S4S FOHC	↗
			ホワイトウッド ラミナ 2.4×11.0×3m上 ラフ乱尺	↗
集成材	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 無化粧 JAS 5プライ	↗
			スギ 無化粧 JAS 5プライ	→
	欧州産	//	10.5×10.5×2.98m	↗
合板	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	タイプ2 F☆☆☆☆ 2.3mm厚 3×6	↗
			タイプ2 F☆☆☆☆ 4.0mm厚 3×6	↗
			型枠 12.0mm厚 3×6	↗
			針葉樹構造用 12.0mm 3×6 F☆☆☆☆	→